

回覧														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより  
 令和2年5月28日 第2号  
 文責 校長 川富 一弘

## 当たり前有り難さに感謝 ～週1回の登校日で気づかされたこと～

コロナ禍の臨時休業の中、週1回の登校日を5月上旬から設定してきました。登校班を地区別に2グループに分けて行うことで、教室内の人数を半減させ、3密を保持しながら子供達の健康状況の確認、そして学力保障のための学習指導を少しでも進めるためのものです。

3月から数えるとすでに3カ月に及ぶ休業、しかも夏休みとはちがい、家から極力出ないことを強いられた子供達の精神状態は、やはり相当心配でした。加えて、進級してから2カ月間、教科書を使った学習ができていない焦りと不安は、我々職員皆共通する思いでした。

そんな中での登校日でしたので、子供達はもちろん、職員にとっても正に一秒でも長く欲しい、少しでも学校の雰囲気を感じたい、つながりたい、そんな思いだったと思います。子供達も嬉しそうでしたが、それ以上に先生達が張り切っていることが校長として嬉しく感じました。

学校に当たり前居るはずの子供達、そして皆がそろって学べる日常は、決して当たり前ではなく、実はいろんな条件、思いや願いがそろって実現できていること、実に有り難いことだということをこの臨時休校であらためて気づかせてもらったような気がしています。

学校を信頼し、期待し、子供達を元気に送り出していただく保護者の皆様への感謝、学校を楽しみに登校してくる子供達への感謝、それぞれの事情を調整しながら早朝から出勤してくる本校職員への感謝、そして多面的多角的に学校運営を支えていただいている長洲町への感謝等など・・・、当たり前を当たり前とせず、そんな皆さんの思いに応えることのできる学校でなければならない、そんな気持ちに気づかせてくれた臨時休業でした。



※いつもの半分の人数で学習しました！（1年生）



※久しぶりにお友達と遊べました!!（5年生）

# 学校を支えている地域の力



コロナ感染症予防でこれほど価値が上がり、品不足になるなんて誰が予想できたでしょうか……。そう、マスクです。

不織布の使い捨てマスクが定番化していた今日、どこのスーパーでも品切れになってしまい、ノウハウのある日本人は、布マスクへとすぐに転換しました。しかし、その材料さえ手に入らない状況になってしまい、マスクなしでどうこの状況を乗り切るか不安な中、本校児童のために町内複数の団体より手作りマスクの寄贈をいただきました。本当に有り難いです。

いただきました団体様は次のとおりです。

## 長洲町地域婦人会長洲校区の皆様、那須商会様、モード・レディス様

本来ならば子供達へ直接手渡していただき、お礼を言うべきところですが、休校中であつたためお礼ができておりません。大変申し訳ありませんが、お礼は、子供達の元気な姿やあいさつで地域へ返していければと思います。大切に使用させていただきます。ありがとうございました!!

このように、学校は地域の多くの方々に支えられています。学校も支えてもらうばかりではなく、地域に貢献できる存在でなければなりません。WIN・WIN（両者にメリットがある）の関係ですね。これを「地域学校協働活動」と文科省は呼んでおりますが、地域ができること、そして学校が果たす役割を互いに共有し、その使命や役割を果たしていくことで両者が発展していくわけです。今回、地域からのご厚意を受け、学校も何かしら地域のために動かなければなりません。しかし、職員で考えるよりもまず、長洲小では子供達に投げかけます。

この学校だよりのコンセプトのとおり、今年のアクティブ長洲小は、子供達が主体となって考えます。それを教職員がサポートしていきます。もちろん子供主体で進む以上、失敗することもあるかもしれません。しかし、長洲小は、その失敗を大事にし、失敗する中で課題を見つけさせ、解決方法を子供に考えさせ、さらにステップアップする教育を大切にします。さて、本校の子供達からどんなアイデアが出てくるかとても楽しみです。

## 6月1日、学校再開に向けた除草(助走)作業

緊急事態宣言も解除され、いよいよ6月1日より、全児童登校が始まります。第1週目の初日は午前中授業、2～5日は5時間授業、8日からの第2週より通常授業となります。毎朝、全職員で清掃活動をしていましたが、先日は、2日間にわたり校地内の除草、伐採作業を行いました。毎年運動会が行われるこの時期には、PTAによる美化作業をしていただいていたのですが、今回は職員で頑張りました。職員の思いは、私たちの学校をきれいに、そして何よりも子供達が気持ちよく、安全に過ごせるように、です。こうした作業も私たち職員にとって、学校再開へ向けたよい助走になってくれました。さあ、実働アクティブ長洲小が動き出します。